

平成 17年 6月期 中間決算説明資料

平成 17年 3月 30日

株式会社アイ・ピー・エス



会社概要

- ・ 平成 17年 6月期中間決算概要
- ・ 平成 17年 6月期業績見込

- **設立** 1997年6月
- **上場市場** JASDAQ (2001年12月21日上場)
- **資本金** 2億5,105万円
- **事業内容** ERP R/ 3の導入サービス

8年間で16社の契約実績(うち3社は進行中)
導入前段階でのERP導入検討コンサルティングから導入開発
運用開始後の保守サポートサービスまでトータルにご提供
テンプレートによる一括請負導入

- **従業員数** 48名 (2004年12月末現在)



ERPパッケージをベースにした 基幹業務システムの構築

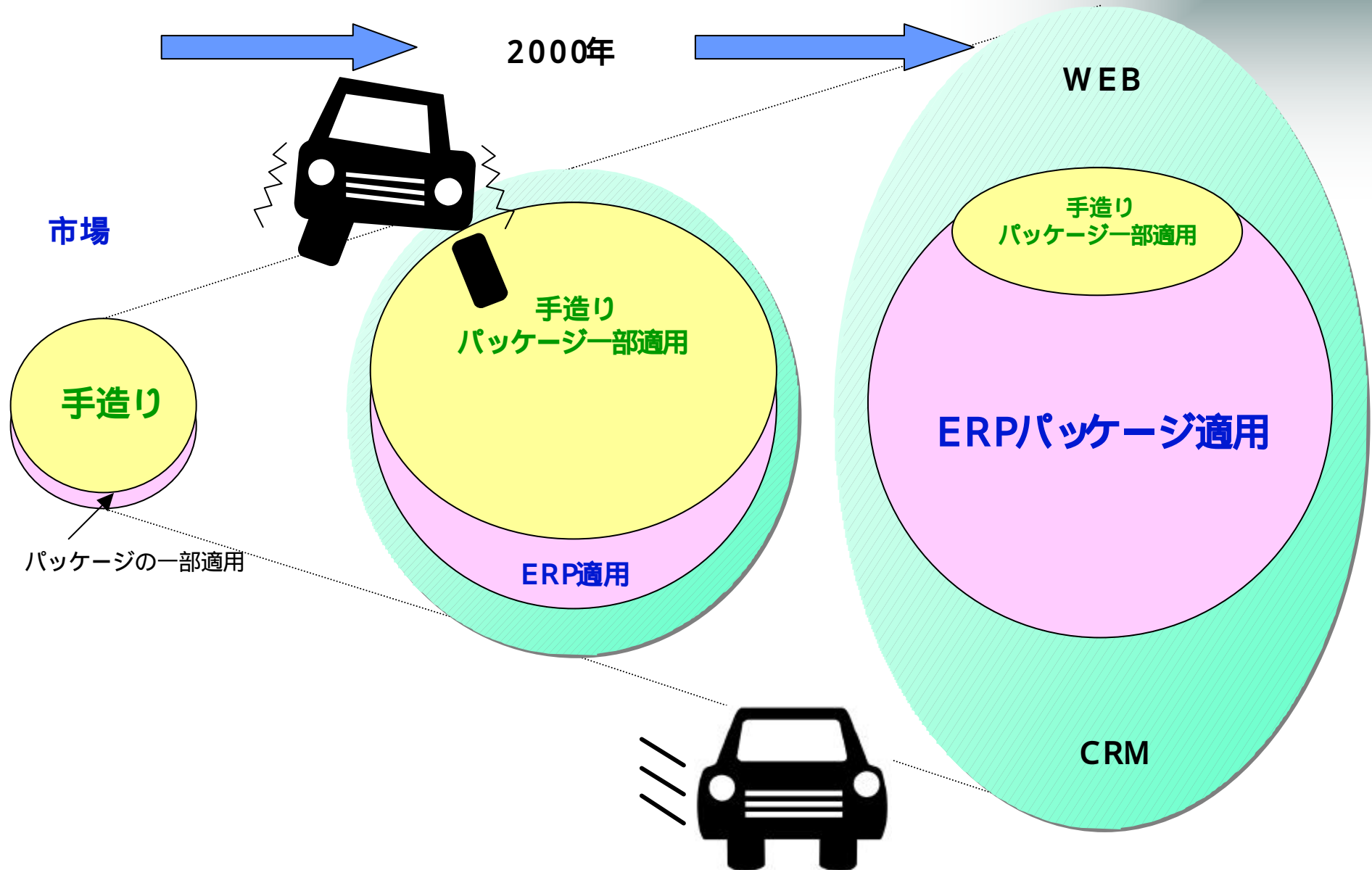
ERP関連各種商品開発

コンサルティング
サービス

外部支援事業

保守開発事業

基幹業務向けシステム構築再構築の市場



■ IPSが考える情報システムの条件

■ *Function* :今企業に求められる情報システムの姿は？

企業の基幹業務をフル・カバー、個別システムではなく全体システム
個別の仕事を助けるシステムではなく、企業全体の情報を統括・管理

■ *HowToDevelope* :如何に高品質な情報システムを実現し維持するか？

従来の手作り形開発システムでは限界
完成度の高いパッケージシステムの適用、プログラミングからの脱却
変化に対する柔軟性、ITへの追随

■ *信頼性 保障*

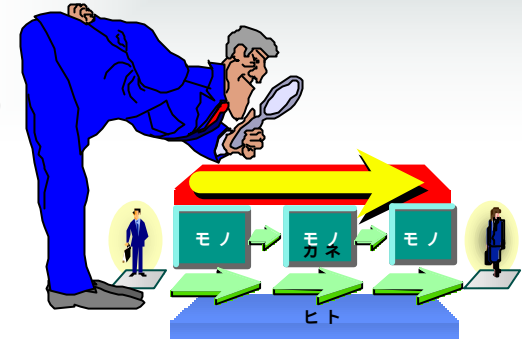
基幹業務のパートナーとして十分な企業基盤とサポート体制

SAP
R / 3
SYSTEM

完全なリアルタイム連携と統合データベースを実現するパッケージ
プログラミング手法から脱却しエンジニアリング手法へ
新しい仕事の進め方、情報システム技術への対応の為のプログラミングは
ERPベンダーにアウトソーシング。これによって、従来の開発手法によるシステム
の品質劣化を防ぎ、変化・最新のITに対して迅速に対応可能
ワールドワイド21,600社の導入実績と、そこで実用されている仕事のノウハウを
テンプレートに短期間でBPRとシステム構築を実現

ENTERPRISE = 企業の
RESOURCE = 資源を
PLANNING = 計画する

**企業内の
全ての資源を
最も効率の良い
再構築計画を行う**



● ERPとは

企業における経営資源 (人、モノ、金、情報) の状況『今現在の状況』を管理、把握し、企業活動を行うという経営コンセプト

● ERPパッケージとは

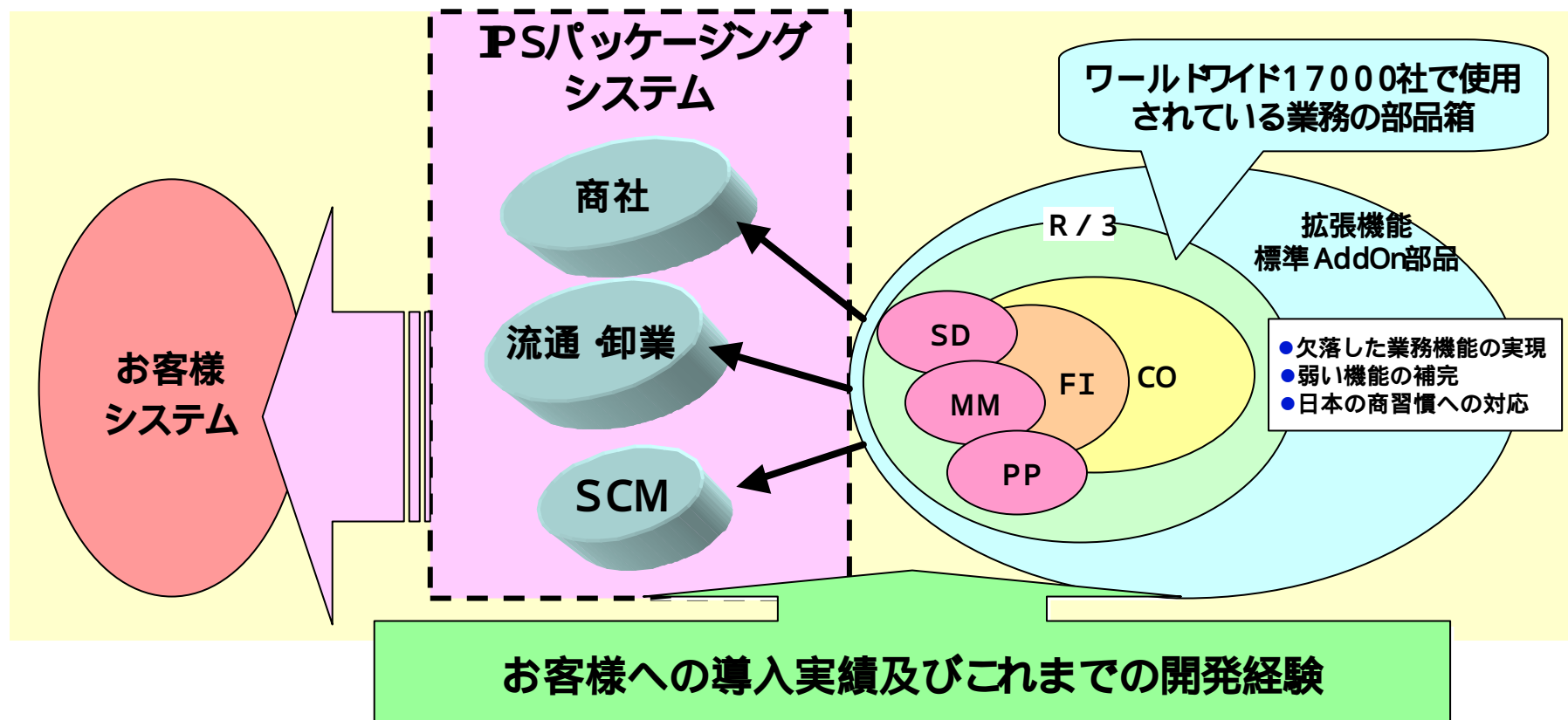
企業における資源の管理をするために必要な機能 (例 :会計システム、調達システム、販売システム、生産システム、人事システム、)を持ち、かつ全システムが有機的に統合されている構造を持つソフトウェア



ERPそのものが**基幹システム**
従って、**導入時に重要なことは・・・**
システム導入の狙いを明確に設定し
目標実現の為のツール利用技術を徹底的に考えること!!

IPSの商品は？

- ・企業の基幹業務全体、複数業務の組み合わせをカバーするパッケージシステムを提供
- ・ERP - R / 3をベースに、業務統合、情報統合、業務標準化を促進する高品質なシステムを短期間で構築可能
- ・事前に、R / 3の部品を組み合わせ、部品が無い業務機能については独自で開発し、業務システムとしてパッケージング



IPSパブリックパッケージとは？

準大手企業、中堅企業向けに特化したIPSテンプレートを活用して、製造業・商社へのコストパフォーマンスの高いR/3導入サービスを提供致します。

➤ IPSパブリックパッケージとは？

アイ・ピー・エスのテンプレート(すでにカスタマイズ/アドオンが追加されたシステム+ドキュメント)の名称となっております。以下の2点をご用意しております。

- ・製造業向けテンプレート IPSパブリックパッケージ (プロセス系製造業 :化学)
- ・商社向けテンプレート IPSパブリックパッケージ (商社)

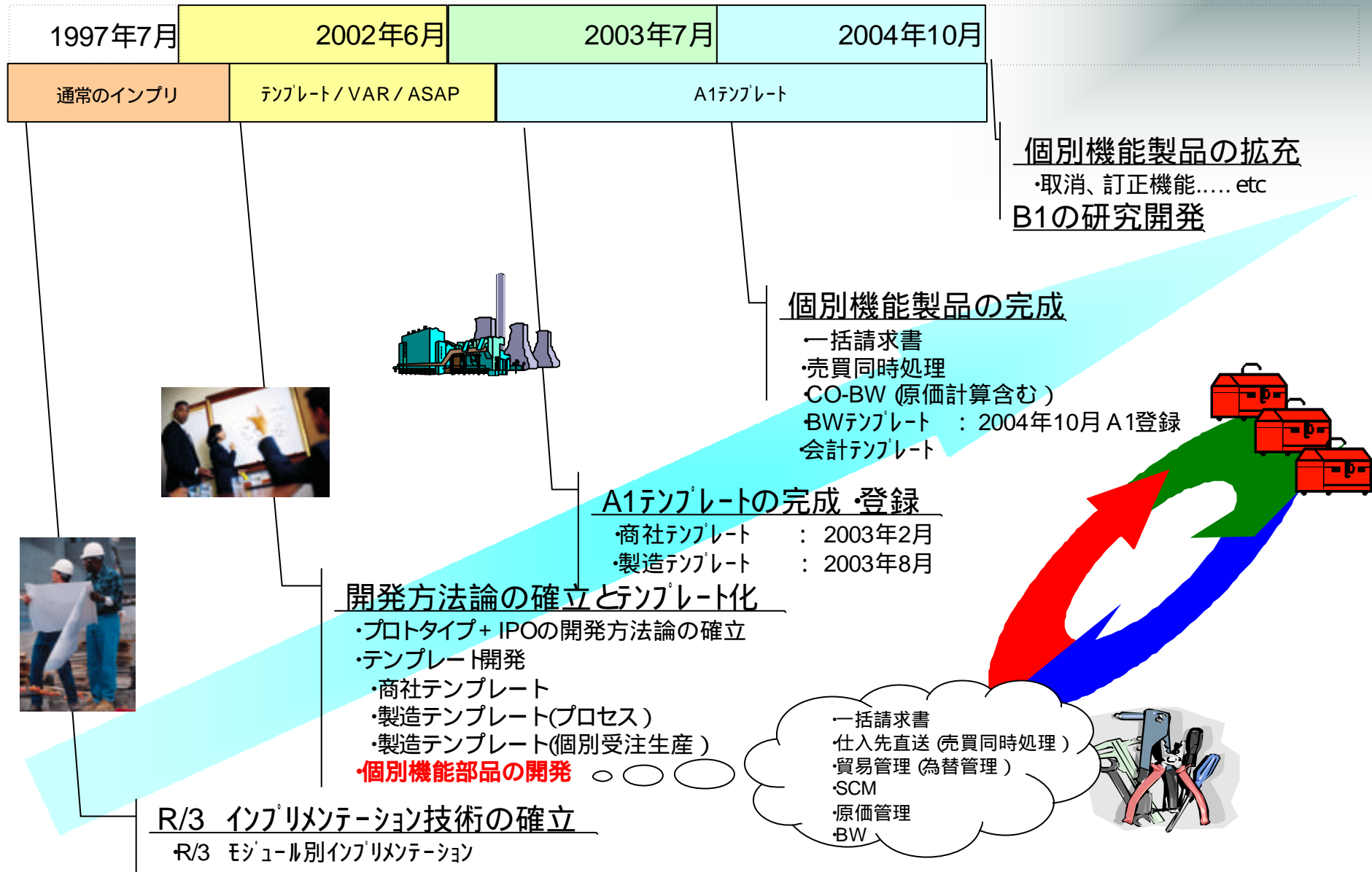
➤ mySAP All-in-Oneソリューションに登録済みテンプレート

IPSパブリックパッケージ (商社)	2003年 2月
IPSパブリックパッケージ (プロセス系製造業 :化学)	2003年 8月

➤ mySAP All-in-Oneソリューションとは？

SAP社の提供するソリューションの一つで、中堅企業に、価格的にも無理のない、最適な規模のソリューションをご提供しています。その為お客様は、柔軟性の低いアプリケーションを苦心して統合する必要はなくなりました。

PSの製品開発への取組



・ 平成 17年6月期中間決算概要

当中間会計期の経営環境

経済状況は確実に上向いているものの、
情報サービス産業に向けての設備投資の全体的な
活性化までには至らず。ERP市場における平成16年実績も
伸び悩む。

そのような経営環境において、当社は・・・

中堅企業向けERP市場において積極的な営業活動

当社独自チャネルの営業活動

ハードウェアベンダーとの営業アライアンス開発

東日本における営業活動の強化（東京営業所の開設）

製品開発

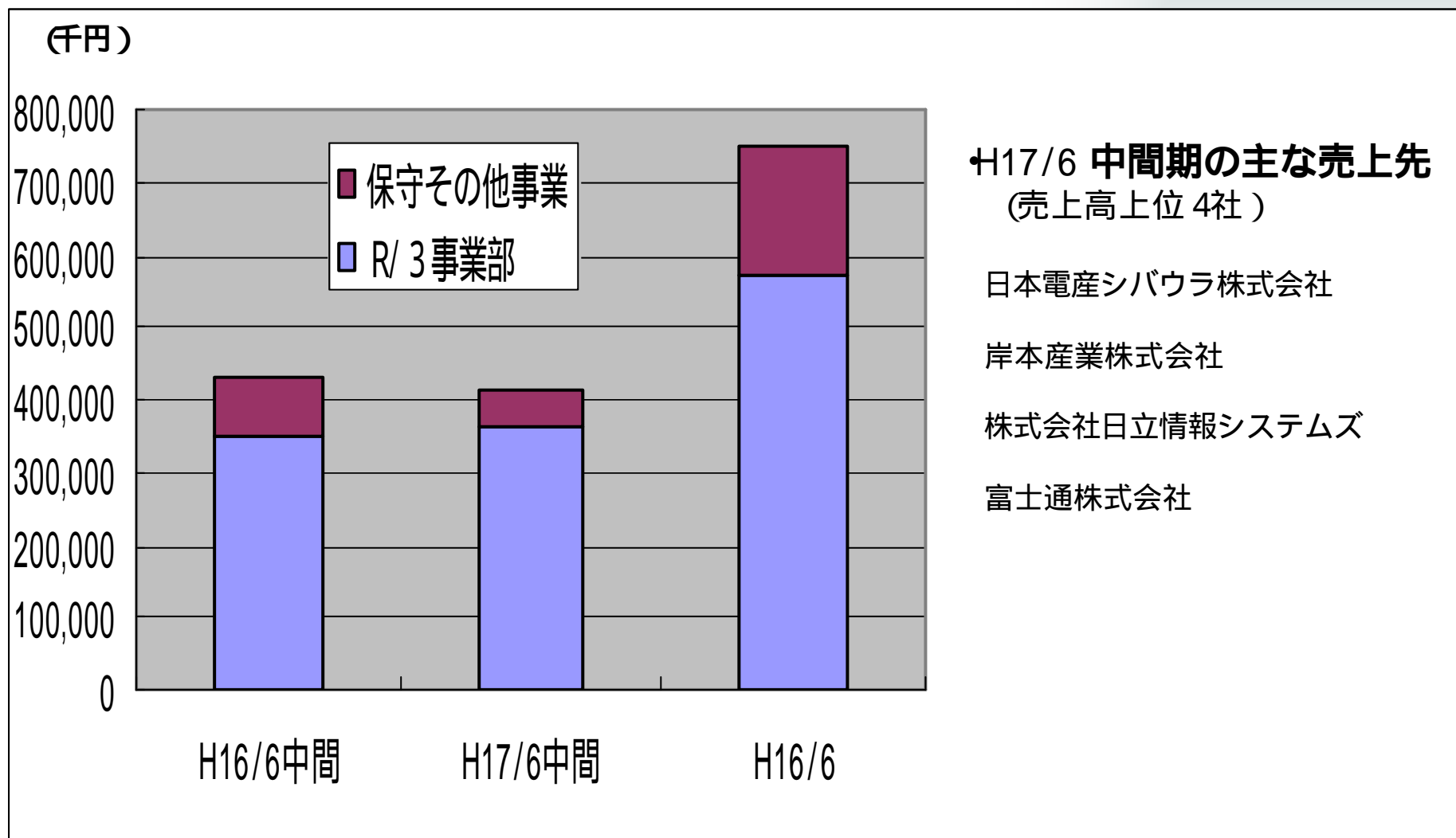
データウェアハウス構築の為にパッケージ開発を完了し、
SAP社の中堅企業向け A 1 テンプレートへの認定を完了。

売上高	414,989千円	< 前年同期比	3.7% >
経常利益	4,624千円	< 前年同期比	93.9% >
中間純利益	1,901千円	< 前年同期比	95.3% >

平成17年6月期中間業績概要 (前年同期比)

(単位 :百万円)

	H16/6期 中間(実績)	H17/6期 中間(実績)	前年同期比
売上高	430	414	3.7%
営業利益	74	4	93.8%
経常利益	75	4	93.9%
中間純利益	40	1	95.3%
1株当たり 中間純利益	1,696円38銭	80円57銭	-



・ 平成17年6月期業績見込

平成17年6月期業績見込 (前年同期比)

(単位 :百万円)

	H16/6期 (実績)	H17/6期 (予想)	前年同期比
売上高	749	850	13.5%
経常利益	54	120	122.2%
当期純利益	30	67	123.3%

■ 本資料についてのご注意

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。